

京都造形芸術大学学長 尾池和夫

京都芸術デザイン専門学校の卒業生の皆さま、ご卒業おめでとうございます。また、あたたかく見守りつつ、しっかりと学習を支えられたご家族の皆さまにも、心からお祝い申しあげます。多くの学生たちに、良き指導者として場所を提供し、アドバイスを与え、暖かく支援してくださった、企業、団体、自治体の方々に、深く感謝いたします。京都芸術デザイン専門学校の教職員の皆さんにも、お祝いを申し上げ、その一方ならぬご努力にお礼を申し上げます。

2015年2月7日（土）と8日（日）には、京都市勧業館みやこめっせ3Fで、京都芸術デザイン専門学校『卒業制作展2014』が開催され、私も短時間でしたが、会場を全部見て回りました。

卒業制作展はオープンキャンパスの場でもあり、今日、卒業される皆さんの後輩になる人たちが見に来てくれました。この瓜生山のキャンパス全体が皆さんの母校になります。大学の通信教育部の卒業展が今日から開催されています。母校の仲間の作品をぜひ見てください。

皆さんの卒業制作展では、ビジュアルデザインコースのモニュメントであるポップコーンが目を引きました。コースで出展した『東京デザイナーズウィーク2014』の展示が再現されていました。コミックイラストコースの華やかな展示にも興味を持ちました。インテリアデザインコースでは、シェアハウスのリノベーションの提案をおもしろく思いました。また、1回生の皆さんがエントランス展示を行い、アンテナショップの運営をしているのがすばらしいと思いました。

マイスターレッツコースには、バッグや小物の雑貨に職人の技がありました。情報デザイン総合コースは、グラフィック、映像、立体とさまざまな作品が並びました。その他にも、金魚のためのサプリメントである、石津京香さんの「金魚専用健康補助食品KINGYO+」という作品、中村恵李花さんのお茶をテーマにした「お茶のーら」という作品が、強く印象に残りました。

産業界全体と幅広いネットワークを築きながら、学生が現場と向き合い、仕事を通して学習するという基本を守って、プロの姿勢で卒業展の作品を生み出した結果が、このすばらしい卒業制作となりました。

京都芸術デザイン専門学校は即戦力を育てることを目標としてきました。その厳しい環境の中で育ち、今日の卒業式を迎えられた皆さんの努力に敬意をはらい、皆さんの社会の

荒波の中での活躍を期待して、ご健康を祈りつつ、卒業式のお祝いの言葉を結びます。

ご卒業、まことにおめでとうございます。